



すいた市議会だより

No. 340

新年号

編集：議会広報委員会 発行：吹田市議会 ©吹田市泉町1丁目3番40号 ©直通電話06(6384)2663/FAX06(6338)0920

◎市議会のホームページは [吹田市議会](https://www.city.suita.osaka.jp/shigikai/index.html) 検索 (https://www.city.suita.osaka.jp/shigikai/index.html)

令和5年(2023年)度 決算を認定

令和5年(2023年)度の一般会計の決算は、歳入歳出差引額(形式収支)では1億1598万円の収入超過で、ここから翌年度への繰越金5億8309万円を差し引いた実質収支は5億3289万円の黒字です。また、当該年度の実質収支から前年度の実質収支13億1990万円を差し引いた単年度収支は7億8701万円の赤字です。

市議会では、9月定例会終了後の閉会中に、一般会計および8特別会計の決算を決算常任委員会で審査し、11月定例会の初日にそれぞれ認定しました。また、水道事業会計および下水道事業会計の剰余金の処分もそれぞれ可決しました。(議決結果および賛否一覧表は、3月1日発行の11月定例会号に掲載予定)

なお、決算常任委員会から、分科会の審査を踏まえて取りまとめた1項目について、市に提言をしました。(提言の内容は5面に掲載)

今回の新年号では、その審査の一部をお伝えします。なお、詳細な内容は、本会議録や委員会記録(市役所の市民総務室(情報公開)、図書館等に備えています。)をご覧ください。また、市議会のホームページの会議録検索システムでも、本会議録や委員会記録の検索、閲覧ができます。

明けましておめでとうございます



(議員名)	(住 所)	(電 話)	(議員名)	(住 所)	(電 話)
議 長			井上真佐美	南金田1丁目11番22-403号	06-6369-7205
泉井 智弘	江坂町3丁目28番1号(*)	080-2476-6545	野田 泰弘	日の出町	06-6383-6640
副議長			竹村 博之	垂水町3丁目24番14-820号	090-1027-8954
山根 建人	南清和園町7番9号1階(*)	06-6382-9009	塩見みゆき	長野東9番9-403号	06-6876-7058
議 員			柿原 真生	佐竹台4丁目1番10-214号	06-6831-5664
益田 洋平	山田西2丁目18番A13-202号	090-5899-9339	清水 亮佑	山田東1丁目16番6号(*)	090-7104-2815
梶川 文代	日の出町9番29号	06-6319-3337	今西 洋治	江坂町	070-4501-9892
五十川有香	五月が丘東9番12メゾン南千里102号(*)	06-4864-2874	林 恭広	佐竹台	050-5469-9118
西岡 友和	藤白台	—	澤田 直己	末広町2番9号	080-6118-0391
久保 直子	竹見台	090-5674-1407	白石 透	上山田1番12-1101号	090-3381-8729
石川 勝	垂水町1丁目37番23号	06-6337-7701	有澤 由真	寿町1丁目1番1号寿ビル2階(*)	06-4860-2300
後藤 恭平	西の庄町2番28号(*)	06-6380-8802	矢野伸一郎	千里山西	06-6380-3689
中西 勇太	円山町6番21-101号(*)	080-8125-7813	小北 一美	古江台5丁目2番A2-402号	06-6872-2560
玉井美樹子	日の出町13番3号(*)	06-6382-3413	橋本 潤	垂水町1丁目9番23号	06-6339-0141
村口久美子	山手町	06-7650-5220	乾 詮	泉町	070-8359-3132
後藤久美子	藤白台	070-5568-2421	高村 将敏	朝日町15番32号	06-6556-6974
川田 尚	垂水町	090-2183-6599	井口 直美	泉町5丁目7番16号	06-7161-4035
江口礼四郎	長野東6番4-205号	06-6319-8172	藤木 栄亮	千里山西1丁目38番14号千里山ユマビル2階(*)	06-6310-5757
浜川 剛	片山町	06-6338-3039			

住所および電話番号の掲載内容は、各議員の意向によるものです。
住所欄の(*)は連絡所を表しています。
議員の年賀状は、答礼によるものを除き公職選挙法で禁止されています。

(議席番号順)

財政総務分科会 西岡 友和 分科会委員長

日本共産党 塩見みゆき

自主防災組織への支援を

問 地域防災活動を自主的に行う自主防災組織等への関心が高まっている。市による防災啓発の実施や円滑な運営に向けた支援が必要ではないか。
答 自主防災組織の自立した活動に向け、意見交換会等を実施しフォローしている。小学生への啓発行事を実施し次世代の人材育成も図っている。

吹田 党 後藤 恭平

市民病院の運営費負担金

問 市が支出する運営費負担金を、病院は医師の研究手当に充当している。本来の使途から逸脱し不適切と考えるが、他市で同様の事例はあるのか。
答 市の負担金等を財源とした同様事例は確認できていないが、不適切であるとも断言できない。今後は同負担金の基準の明確化を検討していく。

公明 党 井上真佐美

市税の収入率向上を

問 令和5年度の市税の不納欠損額は4000万円を超えた。税の公平性の観点から、納付推進に向けた取り組みが必要だが、市の対応状況を問う。
答 滞納事案への早期着手やきめ細かな納付相談を実施するとともに、利便性向上を目的にキャッシュレス納付等の納税環境の整備を進めている。

大阪維新の会 江口礼四郎

建設事業の十分な検討を

問 建設事業での市債残高が増えているが、人口減少も予想され将来世代への負担増大を懸念する。新規施設等の必要性は十分議論しているのか。
答 公共施設最適化委員会のほか新規の大規模施設整備などは政策会議等に諮っている。担当課に加え財政担当等も入り複数の部局で議論している。

大阪維新の会 乾 詮

経常収支比率の目標設定

問 総合計画では経常収支比率目標を95パーセント以下としている。歳出削減による目標達成に固執せず、必要な事業は実施し積極的に市民サービス向上を図るべきでないか。
答 目標達成のみを目的とした経費削減は考えていないが、財政運営の基本方針の中で歳出予算の精査は必要と考える。

文教市民分科会 竹村 博之 分科会委員長

日本共産党 柿原 真生

留守家庭児童育成室の施設改修について

問 留守家庭児童育成室の施設は、空調設備やトイレ改修、畳の取り替えなど保護者からあらゆる改善要望が絶えない。原因は予算不足という認識か。
答 緊急度の高い修繕を優先しつつ順次対応しているが、技術職がおらず対応に時間を要するなど人的要因が大きい。

公明 党 野田 泰弘

学童保育指導員の確保

問 本市では学童保育指導員が不足している。安心して子どもを預けられるよう、指導員の給与を上げる等の処遇改善を行い、必要な配置数を満たす必要があるのではないか。
答 他市状況やその職務と責任、市全体の会計年度任用職員の給与バランス等を検討する必要があると認識している。

吹田 党 中西 勇太

学校給食の質の確保を

問 給食の内容は非常に重要であるが、原材料費の高騰等で給食費が値上げされた。これに伴い、おかず代の副食費も増加したが、適正な栄養バランスは維持できているのか。
答 値上げによって多様な食材の組み合わせが可能となり、栄養バランスの良い充実した献立ができたこと認識している。

自民党吹田・無所属の会 白石 透

重要文化財の建造物修理

問 重要文化財建造物修理事業は、国から補助金が出ている。修理には特別な技術が必要と考えるが、工事を依頼できる業者は限られているのか。
答 工事監理の委託先は、文化庁が承認した技術者がいる業者に限られる。同庁の指導に基づき、実施設計と同じ業者に随意契約で委託している。

大阪維新の会 後藤久美子

光熱水費の不用額精査を

問 小・中学校管理運営費で各1億円以上の決算不用額が出ている。光熱水費実績が見込みを下回ったことが要因だが、過去の動向を踏まえ、予算要求額を精査すべきでないか。
答 価格が高騰する中、経費予測は難しいが、参考見積もりを取るなど、引き続き実態に近い数値となるよう努める。

健康福祉分科会 梶川 文代 分科会委員長

日本共産党 玉井美樹子

指定管理者制度の検証は

問 2023年度から、あいほう吹田は指定管理者制度を導入し、従前の委託業者が管理運営を行う。制度導入で公的責任の後退が懸念される中、運営の検証は行ったのか。

答 同施設にモニタリング評価を実施し、安定した収支状況や医療的ケア者の受け入れ体制の拡充等を確認している。

自民党吹田・無所属の会 有澤 由真

若年層への検診受診勧奨

問 各種がん検診の直近3年の受診実績は、低水準で横ばいである。特に若年層への受診勧奨について、どのように改善しようと考えているのか。

答 若年層は子宮がん検診の受診対象である。二十歳を祝う式典のポータルサイトや一部大学の健康教育にて、同検診の受診勧奨を実施している。

大阪維新の会 清水 亮佑

既存保育施設の人材確保

問 保育提供量の確保には既存施設の一時預かり事業の活用も重要だが、人員不足で同事業を休止中の施設に対し、人員確保支援は実施したのか。

答 休止中施設に特化した施策は行っていないが、事業の実施に当たって、保育士の代替人員として配置できる子育て支援員研修を実施している。

公明党 矢野伸一郎

市民病院跡地売却を急げ

問 市民病院跡地はいまだに売却されておらず、スケジュールすら具体的に示されていない。市民病院に対し、責任をもって売却を進めるよう、市の働きかけが必要ではないか。

答 副市長 地域のまちづくりの観点も重視しながら、できるだけ速やかに売却できるよう、市民病院と調整を進める。

参政党 久保 直子

ひとり親家庭の支援体制

問 ひとり親家庭の子育ては苦勞を伴い支援が必要だが、ひとり親家庭等日常生活支援事業利用者は5名しかない。周知が足りないのではないか。

答 ヘルパーを自宅に派遣するという同事業の性質上、抵抗感を抱く人もいる。必要の人が必要ときに利用できるよう、さらなる周知に努める。

大阪維新の会 井口 直美

地域猫活動への補助拡充

問 野良猫に避妊・去勢手術を行う際に病気等が発覚し、地域猫活動団体が治療費を負担することが多い。補助対象や金額の拡充は検討したのか。

答 獣医師が避妊・去勢手術に伴い必要と認めた治療は対象としている。繁殖制限を目的とした補助金であり、金額も含め拡充は検討していない。

建設環境分科会 藤木 宋亮 分科会委員長

日本共産党 村口久美子

市内駐輪場の整備推進を

問 本市では供給不足が長年続く市営駐輪場が複数箇所ある。これまでの利用率等を参考に、需要予測調査や整備計画策定を実施しないのか。

答 調査経費等は予算化できておらず、未実施箇所が多い。利用率が低い原動機付自転車区画を自転車に変更する等、既存施設の有効利用を図る。

公明党 小北 一美

マンションの管理支援を

問 本市では全世帯の3割以上がマンションに居住しているが、管理不全に陥ると景観や居住環境への影響が懸念される。積極的なマンション管理支援を実施すべきでないか。

答 まず令和5年7月から開始した管理状況届出制度による効果を分析しながら、具体的な施策等を検討していく。

～決算常任委員会の委員構成について～

決算常任委員会は、28人の委員で構成しています(委員長は西岡友和議員、副委員長は竹村博之議員)。

なお、泉井智弘議長、山根建人副議長のほか、前任の監査委員である益田洋平議員、高村将敏議員、現在の監査委員である浜川剛議員、橋本潤議員については、委員会条例の規定により委員に就任していません。



自民党吹田・
無所属の会 澤田 直己

不快な公園トイレの改善

問 安威川公園や末広公園内の汚く臭い不快なトイレは、使用が敬遠され、その存在意義が疑われる。更新や撤去等の対応は検討しているのか。
答 指摘のような不快な公園トイレは、和式等古いものが多い。年間3基ずつ更新を図っており、今後5年ほどで全数が更新される予定である。

大阪維新の会 川田 尚

路上喫煙防止対策の効果

問 市は路上喫煙防止対策として、啓発員による巡回指導や卒煙支援ブースの設置を行っている。たばこのポイ捨ての苦情件数など、対策の効果をどのように認識しているか。
答 苦情件数は、当初に集計した数字と比べて10分の1以下になっており、全体的に減少傾向にあると判断している。

吹田 党 石川 勝

上の川周辺整備の推進を

問 上の川周辺の整備は議会を含め一丸となって進めるべきである。これまでの経過を踏まえた副市長の見解を問う。
答 副市長 花壇踏切までの遊歩道延伸に向けて大阪府と協議を重ねている。関西大学へのアクセス改善等のまちづくりの効果が生まれ、時間を要したとしても必ず進めていく。

大阪維新の会 今西 洋治

上下水道の耐震化の推進

問 能登半島地震で明らかになった上下水道の問題点を踏まえ、令和5年度中に実施、検討した新たな対策はあるのか。
答 被災地支援で、下水道施設等の被災に伴い上水道も使えない事態を経験した。今後は交付金等も活用し、上下水道一体で耐震化計画を策定して避難所等の耐震化を進める。

大阪維新の会 林 恭広

公園内彫刻の管理徹底を

問 千里南公園内のモニュメントの中には高さがあるものもある。倒壊等のおそれがないよう管理が必要と考えるが、どのように対応しているのか。
答 当該彫刻は通常の公園施設と同様の点検、補修では対応できない。経年劣化で危険が生じないよう、別の維持管理方法を検討する必要がある。

総括質疑

市民と歩む
議員の会 五十川有香

委託業務の管理体制強化

問 本市は過去に委託業務において、再委託業者の虚偽報告問題が発生したが、委託業務の管理体制強化とその周知にどのように取り組んだのか。
答 副市長 マニユアルを見直し、原則禁止の再委託をやむを得ず行う場合は承諾申請書の作成を庁内に周知した。今後も適宜改正し周知に努める。

市議会ホームページから会議録の検索、閲覧ができます

パソコン、スマートフォン等で、議会の会議録(本会議録、委員会記録)をご覧になれます。



市議会の
ホームページ

会議録検索システムの閲覧方法

「会議録検索システム」をクリックすると、検索システムのトップ画面が表示されますので、右上にある「検索」ボタンをさらにクリックし、表示された画面内の対象年、キーワード、発言者、会議の種類などの条件を絞り込めば、質問や答弁を検索することができます。



会議録
検索システム



決算常任委員会から市に対する提言

令和5年(2023年)度の一般会計、特別会計の決算に関する事項について、分科会ごとに審査を行い、その内容を踏まえ、委員会として以下の提言(意見や考え)を取りまとめ、10月30日に市長に提出しました。

子育て家庭への支援について

近年、子育て家庭を取り巻く問題はますます複雑化しており、個々の状況を的確に見極めながら、当事者に寄り添った支援が必要とされている。

本市では、ヤングケアラー、妊産婦、ひとり親世帯、児童虐待および生活困窮世帯等への支援策が実施されているが、担当部局だけでなく、すべての各部局が縦横に連携し、さらには地域や関係機関等の協力も得ながら、不安を抱える家庭への支援に取り組まれない。

(健康福祉分科会)



11月定例会で決算常任委員会の審査結果を委員長が報告する様子(議場)

ヤングケアラーとは

ヤングケアラーとは、子ども・若者育成支援推進法において「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者」とされています。

具体例としては、以下のようなケースが考えられます。



障害や病気のある家庭に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障害や病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

(出典：こども家庭庁ホームページ「ヤングケアラーについて」(参照 令和6年12月1日))